

寄付をいただいた皆さん

・濱本 佳子
・牧里 每治
・中山 光子
・妹尾 勇太郎

新たに入会された皆さん
正会員

・細谷 崇

新たに入会された皆さん
賛助会員

・木下 静美
・福島 義直
・立川 文代
・生駒 由香里
・小林 光里
・和泉 昌三
・高野 学
・正 優展
・大竹 真弓

(順不同、敬称略 期間：2016年3月11日～5月31日まで)

宝塚市立勤労市民センターにて、展開中の事業にも寄付いただいています

100色 珈琲 つばめ 文庫



計 67,512円

2016年4月1日～5月31日

2015年度 寄付総額
計 334,413円

ご支援ありがとうございました。

(認定) 宝塚 NPO センター 会員募集・継続のお願い

宝塚 NPO センターは、「市民が市民を支える社会」をつくるために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費

個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
10,000 円		30,000 円	3,000 円

振込先

	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱東京 UFJ	
支店	宝塚支店	
口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117
カナ	トクテイヒエイリ タカラヅカエヌピーオーセンター	タカラヅカエヌピーオーセンター
口座名義	(特) 宝塚 NPO センター	宝塚 NPO センター



(認定) 宝塚 NPO センター

〒665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1
ソリオ1-3F
TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799
E-mail: zukanpo@hnpo.net
URL: http://hnpo.net/
駐車場: ソリオ1...30分 200円

発行人: 牧里 每治 編集人: 中山 光子

宝塚 NPO センター ニュース
**TAKARAZUKA
NPO CENTER
NEWS**

市民の手で市民活動を支える

87 このニュースの編集、発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2016.6

求められるのは失敗を恐れ
ないで挑戦できる社会

宝塚 NPO センターは
メールマガジンを月 2 回配信しています



zukanpo@hnpo.net

上記アドレスに「配信希望」とご連絡ください

みなさまの寄付で支えられています



http://hnpo.net/support/

認定 NPO 法人に寄付をすると税金が戻ってきます

(認定) 宝塚 NPO センター 理事長 牧里 每治

平成28年度通常総会報告

日時：平成28年5月15日（日）13:30～15:00

会場：宝塚市立勤労市民センター

参加人数：正会員63名（うち委任状33名）

提案された議案・報告はすべて承認可決されました。



平成27年度特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日まで

（単位：円）

科目	当初予算	決算額
I 経常収益		
1. 受取会費	1,500,000	1,070,000
2. 受取寄付金	1,000,000	2,460,488
3. 受取助成金等	7,900,000	8,965,000
4. 事業収益	21,808,000	23,368,630
5. 受託収益	68,593,416	70,165,696
6. その他収益	1,002,000	1,302,579
経常収益計	101,803,416	107,332,393
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	58,681,895	59,255,208
(2) その他経費	33,118,084	34,548,821
事業費計	91,799,979	93,804,029
2. 管理費		
(1) 人件費	1,155,349	427,236
(2) その他経費	8,260,000	10,039,236
管理費計	9,415,349	10,466,472
経常費用計	101,215,328	104,270,501
税引前当期正味財産増減額	588,088	3,061,892
法人税等	82,000	82,000
当期正味財産増減額	506,088	2,979,892
前期繰越正味財産額	20,385,412	20,385,412
当期正味財産合計	20,891,500	23,365,304

平成28年度特定非営利活動に係る事業会計 活動予算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

（単位：円）

科目	当初予算
I 経常収益	
1. 受取会費	1,500,000
2. 受取寄付金	1,415,000
3. 受取助成金等	10,800,000
4. 事業収益	21,074,000
5. 受託収益	51,014,376
6. その他収益	502,000
経常収益計	86,305,376
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	53,153,142
(2) その他経費	23,250,759
事業費計	76,403,901
2. 管理費	
(1) 人件費	626,000
(2) その他経費	8,947,527
管理費計	9,573,527
経常費用計	85,977,428
税引前当期正味財産増減額	327,948
法人税等	82,000
当期正味財産増減額	245,948
前期繰越正味財産額	23,365,304
当期正味財産合計	23,611,252

降りそそぐ雨のごとくじっくりと大地に染みるような仕事をする一年でありたい

協働の場づくり

- ・市民活動促進支援事業
- ・ひょうごアドプト推進業務
- ・エイジフレンドリーシティ行動計画策定業務
- ・きずなの家事業

市民同士の協働、行政と市民の協働、中間支援と市民・行政の協働という3つのつながりの中から、地域のあちこちに対話を生み、お互いの理解を深めながら共に地域を考える参加型の社会をつくりたい。

人と組織づくり

- ・生きがいしごとサポートセンター事業

持続可能な組織運営を相談者と一緒に考える姿勢を大切に、コミュニティビジネスやNPO活動を通じて、誰もが主役として参加できる社会をつくりたい。また、仕事というツールを用い、誰もが社会とつながることを応援します。

地域づくり

- ・宝塚市立勤労市民センター指定管理事業

参加型の施設管理運営を通じて、新しいコミュニティをかたちづけていきます。本を通した市民同士の交流の場も設置します。

仕事を通じた社会参加づくり

- ・宝塚市職場体験付若者就労支援事業
- ・伊丹市若年者就労サポート事業
- ・地域若者サポートステーション事業
- ・生活困窮者就労支援事業

働くことで社会に参加することを支援し、就職成立者を増やします。また、事業者はもとより多くの市民に現在の雇用状況を伝えることで、地域の理解を深めます。

参加の場づくり

- ・100色珈琲事業

年齢や立場に捉われず誰もが参加できる場づくりや仕組みづくりを、100色珈琲カフェを通じて実現します。

市民ネットワークづくり

- ・情報提供、講演
- ・東日本大震災支援
- ・熊本地震支援
- ・ネットワーク事業

中間支援NPOとして、それぞれのセクターを結びつけるネットワークの推進に力を入れ、安全で安心な社会をつくりたい。

平成28年度に向けて

宝塚NPOセンターは、中間支援組織『市民活動の交差点』としてNPOにつながる会員の皆さんと市民活動の支援を通じて社会に参加しにくい人々、社会に貢献したいと願う人々を包み込む、懐の深い市民社会づくりに関わる組織でありたいと願っています。とりわけNPO支援を通じてボランティア活動や住民自治につながる活動、そして就労支援というもう一つの社会参加を進めてきました。人生に躓いてもやり直しのきく、失敗を恐れなくて挑戦できる社会の実現を求めています。

宝塚NPOセンターは、きずなの家事業、消費者教育推進計画策定事務局、生活困窮者就労支援事業、阪神北地域若年者就職面接会開催、いたみ就勝塾などを実施し、事業規模が徐々に拡大してきました。総合計画策定事務局は終了しましたが、協働のまちづくり促進委員会『協働のマニュアル』の策定を通じて、市民『協働』が少しでもより良い方向に向かうことを望んでいます。また、シニア・女性のライフキャリア促進事業では若い女性の起業に対する意欲的な姿勢に驚かされましたし、これが宝塚市民の隠れた潜在能力であると実感できました。

事業規模や予算規模が大きくなっても、中間支援組織として市民と行政をつなぐ役割を忘れてはならないと振り返ってまいります。宝塚市立勤労市民センターの指定管理事業の受託や宝塚市総合計画策定の事務局サポート事業などは、宝塚NPOセンターが市民活動を支援する非営利中間支援組織として認めていただいた結果だと喜んでいますが、『市民活動の交差点』たるべきミッションを忘れないで進んでいきたいと思っています。市民参加と公民協働の実現こそ宝塚NPOセンターが掲げ続けたいテーマでもありますが、寄付文化の醸成や社会デザインの提案、調査研究など課題は多く残されています。市民にとって頼りになる宝塚NPOセンターに脱皮するにはまだまだ時間と努力が必要です。

宝塚NPOセンターは、NPOにつながる会員の皆さんと市民社会づくりに関わる喜びと感動を分かち合う組織であることを願っています。一人ひとりの気づきや思いが形になっていく共感や連帯の場づくりと、居場所と出番が宝塚NPOセンターにはある、といわれるように力をつけていくことを目指しています。そのためには宝塚NPOセンターに集ってくださる市民の皆さんの関心と参加がさらに必要です。ボランティアとして、地域住民として、地域社会につながる社会参加のチャンスとチャンネルを創り出すこと、市民がお互いに協働しあう空間、支え合う広場を創り出していくことに役職員ともども力を注いでいきたいと誓います。

理事長 牧里 毎治

みんなで描こう宝塚の未来 ～第5次総合計画市民のつどい～

市民と行政は、ともに何ができる？

平成28年度からスタートした第5次総合計画後期基本計画。宝塚NPOセンターは策定事務局を市と協働で行いました。多くの方が議論を重ねて作られた後期基本計画を広め、活かしたい。そのような思いからフォーラム開催のために集まった有志が企画から運営までを市と協働で行います。今回はこれまでの行政型のフォーラムとは異なります。参加者同士で考え、意見交換し、一緒に宝塚の未来を見つめましょう。

日時・会場等 **入場無料** 各日先着100人

7月31日(日)14:00～16:00 東公民館

8月7日(日)14:00～16:00 西公民館

手話通訳、要約筆記、一時保育あり！

※一時保育を希望される方は
東公民館は7月20日（水）
西公民館は7月27日（水）までに事前申込必要
（生後6か月以上 先着順）

内容

- どうなる？宝塚のまちづくり
～第5次総合計画後期基本計画について～
- これからのまちづくり、どんなやり方がいいの？
～近畿大学教授 久隆浩さんによる基調講演～
- みんなの思い、知恵を集めて何ができるか考えよう！
～参加者の皆さんによるワークショップ（意見交換）～
（コーディネーター：久隆浩さん）

